

女川ボランティア報告(3)

2011. 10. 29

* 報告者: 伊藤 健一 <大和市在住、泉の森ボランティア、TUWV OB>

* 活動経過概要

No.	期間	内容	同行者	備考
1	4月11日(月) ～16日(土)	個人宅泥出し・瓦礫撤去、 ポリ袋・食器の洗浄・片付け	単独	4/24報告 at ポラ協
2	5月 1日(日) ～ 5日(木)	十和田)川田農場で野菜収穫・梱包 女川友人経由避難所に配送	千代ちゃん	
3	5月14日(土) ～21日(日)	津波桜救出作戦	千代ちゃん 日本花の会の樹木医	5/24報告 at 本会
4	9月15日(木) ～18日(日)	十和田)川田農場で野菜収穫・梱包 女川仮設住宅に宅配	石野さん (TUWV OB 同期)	10/29報告 at 本会

* 報告内容

1. 行程
2. 十和田)川田農場
3. 女川での野菜配送
4. 女川現況と復興状況
5. 今後について(女川、大和での活動予定)

1. 行程

* 大和ー十和田 700km

計1600kmの旅

* 今回は、災害派遣等従事車両証明の

手続きを行って出発

→高速無料(約2.3万円セーブ)

災害派遣等従事車両証明の申請書 (一般用)	
神奈川県大和市 様	
平成 23 年 9 月 7 日	
申請者 住 所	242-0005 大和市西鶴間6-29-15
法 人 名	
代表者名	伊藤 健一 印
電話番号	046-275-9304
東北地方太平洋沖地震による災害救助のため、東日本高速道路株式会社等 が管理する有料道路を通行します。	
1 使用予定年月日	平成23年 9月15日(木) から 平成23年 9月19日(月) まで
2 通行予定道路名	東名、首都高、東北、八戸 自動車道



女川町社会福祉協議会と、大和市役所) 危機管理課が、こうした手続きに親切に対応してくれ、高速無料券を発行してくれた。

2. 十和田市) 川田農場

- * 川田農場は、2001年に敷地2万坪の温泉施設を買い取り、ハウス栽培農業を展開。温泉配管暖房も加えての小松菜・山東菜・水菜の栽培がメイン。
- * 被災地向けに、自宅内スキー場に大根を栽培。今回はこれを収穫し、小松菜・山東菜とともに、女川に運んだ。



大根の畝



大根の収穫



箱詰め



川田自作のハウス

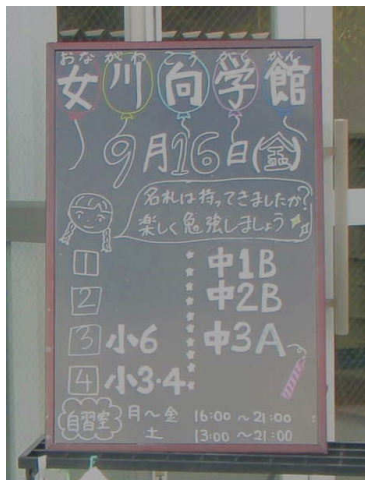


ハウスの中での野菜収穫



私の車に満載

3. 女川での野菜配送



- * 16日、昼過ぎに十和田を出て女川に向かい、まず友人藤中が館長を勤める女川向学館の職員に野菜を渡し、
- * 翌17日、大根・野菜の数を調べ、復興支援センターに来ているボランティアの方お二人の支援も得て、袋詰め後、リアカーで仮設住宅154戸に一軒ずつ廻って、配達



4. 女川現況 (1)福祉センターからのパノラマ

4月11日撮影



5月19日撮影



9月17日撮影



4. 女川現況（2）点描

* 街中が片付いて雑草が生茂げり、瓦礫の山がますます高くなっている。



以前の、
春の女川港
（藤中ブログより）



瓦礫山の隣
花をたむける人



現在

（18日、藤中の朝のハイキングに同行）

4. 女川現況 (3)復興計画・現状

* 女川町の復興青写真(5～10年計画)

・11月13日 町長・町議会選挙を経て決まっていく

* 注目したいのは、“三陸復興国立公園”計画(8/19読売)

三陸各県の国立公園を再編、全長350kmの遊歩道を設けて観光振興・避難路確保・・・来年3月中間とりまとめ



* 最後の仮設住宅が今月完成

・これで避難所がなくなる

・11月6～9日にボラセンが
引っ越し手伝い

・以後、ボランティア依頼は
なくなる見込み

・・・ボラセン業務は終了

* 復興支援センターは継続

・生活支援相談員9人が
エリア毎に仮設住宅を廻り、
困りごと相談にあたる

9/8 読売新聞

5. 今後について (1) 女川

* 津波桜 “さくらたん” 状況

- ・8月に大分、芽が枯れて、現在は休眠状態
 - …来春の芽吹き待ち
- ・桜守りの会は、日本花の会の支部加入予定
 - “女川町に1万本の桜を植える”
 - …当面は、仮設住宅で鉢植え苗を育て



台風直後のさくらたん(藤中ブログより)

* 当会＋グリーンアップセンターのアジサイ苗

- ・さくら公園の下草としてのアジサイ植え付けはまだまだ先の話
- ・来春は、仮設住宅まわりに植え付け
- ・台風以降、仮設住宅にできてきた“自治会”との連携
 - (復興支援センター、武石さんとの話)
- ・花壇作りから考えておく必要あり → グリーンアップセンターに相談

5. 今後について (2)大和

* 外部アピール

- ・ 11月5～6日、市民活動センターの“カッコーフェスタ”(パネル展示・会員募集)
- ・ 11月24日、市民活動センターへのボランティア見学会にて、プレゼン

* 助成金の検討

- ・大和ロータリークラブ
- ・赤い羽根共同募金

* 堆肥作り

- ・民家園の腐葉土を使ってかまわない(民家園、田中さんより)→攪拌／発酵促進
- ・水車小屋田んぼの刈り取り稲の脱穀(11/6民家園秋まつり)後、
稲わらを堆肥作りに使ってよい(鈴木さんより)→落ち葉・鶏糞・油粕とともに堆肥作り

* その他

- ・永年ストックしていた竹炭片を被災地に送ってよい(米倉さん)→女川社協に送付予定
- ・私の好みにて、アジサイ以外に“モミジフヨウ”も育て、被災地に植栽したい
- … 今年、花柄摘みをやめたので、随分、種が取れた！(次回、紹介)